

報道関係者 各位



令和5年9月13日

【照会先】

秋田労働局労働基準部 健康安全課
課長 北林 浩之
安全衛生主任 佐々木 貴規
(電話)018-862-6683



プラスセーフ
秋田県小売業 + Safe協議会の開催について
～労働者の幸せのための安全アクション～



秋田労働局（局長 山本博之）は、労働災害（休業4日以上の死傷者数）が増加している小売業を対象として、秋田県小売業+Safe協議会を9月22日に開催することといたしました。

この協議会は、県内の関係機関やスーパーマーケット等の多店舗展開企業の協力を得て、令和4年10月11日に設立会議を開催して発足しました。構成員は資料1をご参照ください。

このたびの協議会では、小売業が抱える課題や問題点を把握した上で、転倒や腰痛等の作業行動に起因する労働災害の減少や動き手の確保などの企業の経営問題等の解決に向け、業界の自主的な取り組みを促すための方策について話し合いを行います。

秋田県小売業+Safe協議会のご案内

- 1 日時 令和5年9月22日（金） 午後2時00分～午後4時00分
- 2 場所 パーティーギャラリーイヤタカ 4階 ジョージアンホールEast
（秋田市中通6-1-13）
- 3 議題 労働災害防止に向けた取組状況と課題について
第1回SAFEアワード 受賞企業の取組事例発表
今後の秋田県小売業+Safe協議会の活動内容について
- 4 資料 秋田県小売業+Safe協議会 構成員名簿（資料1）
労働災害発生状況（資料2）
SAFEコンソーシアム（資料3）

報道機関の皆様には、本協議会の活動について関係者をはじめ県民に広く浸透するよう、取材・報道をお願いします。

【取材の申込みについて】

取材を希望される方は、前日までに秋田労働局健康安全課（018-862-6683）担当 安全衛生主任 佐々木あてご連絡ください。

また、当日は、協議会開始時間前までにお越し下さい。

秋田県小売業＋Safe協議会 構成員名簿

県の機関

秋田県産業労働部 商業貿易課

関係団体

秋田県商工会議所連合会

秋田県商工会連合会

一般社団法人秋田県労働基準協会

法人企業

(五十音順)

株式会社アマノ

イオンスーパーセンター株式会社

イオン東北株式会社

株式会社伊徳

株式会社サンデー

生活協同組合コープあきた

株式会社タカヤナギ

有限会社中央市場

株式会社テラタ

株式会社ナイス

株式会社日敷

株式会社バザール

株式会社マルエーうちや

株式会社マルダイ

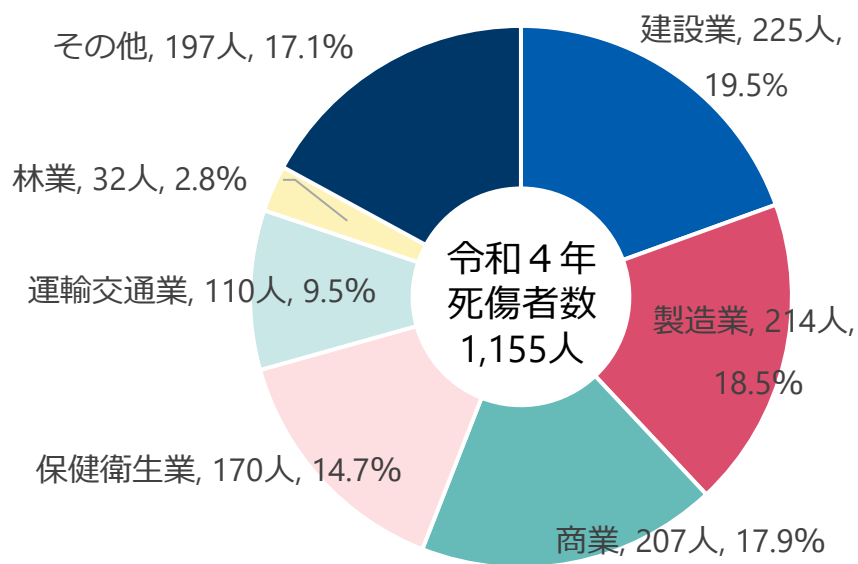
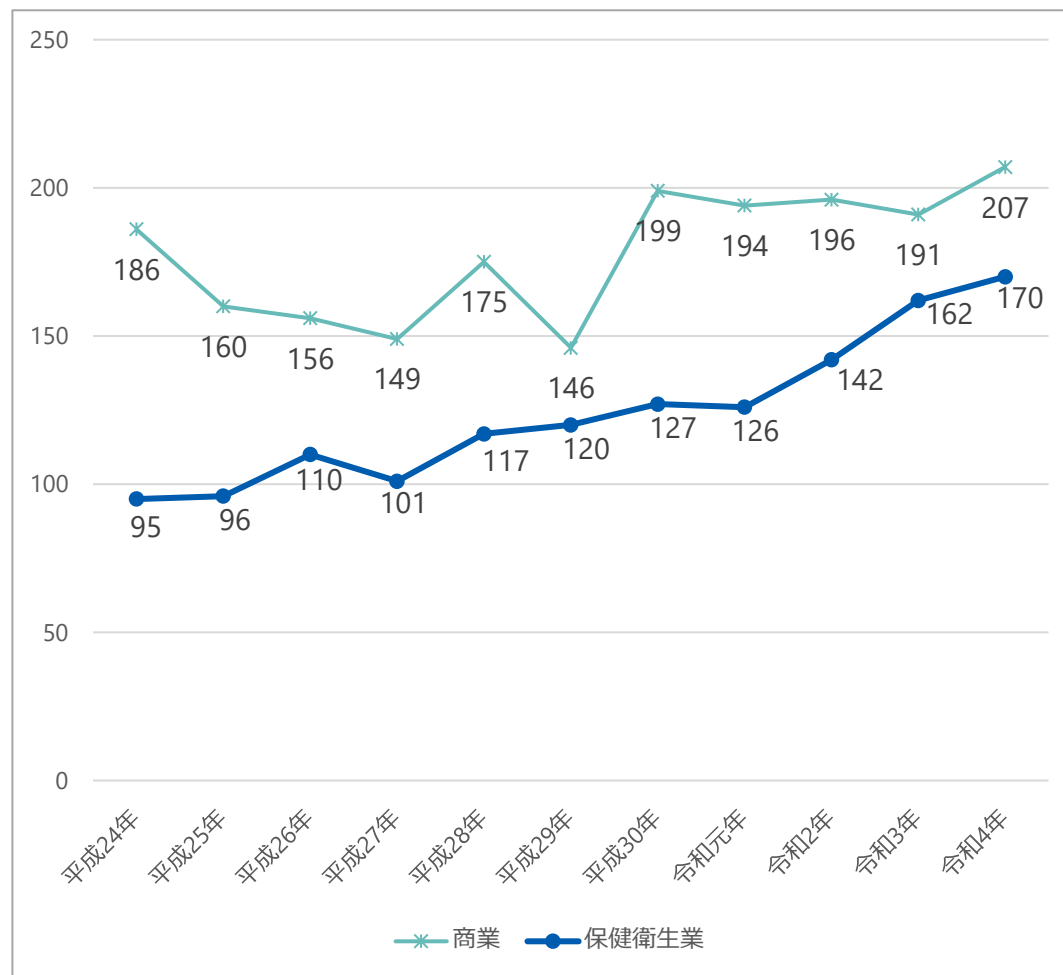
国の機関

秋田労働局 労働基準部 監督課

秋田労働局 職業安定部 職業安定課

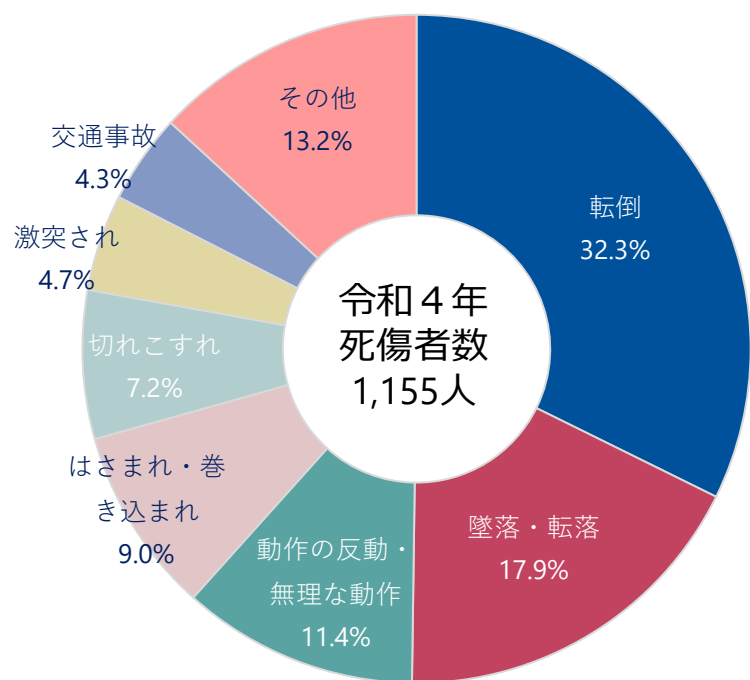
秋田労働局 労働基準部 健康安全課（事務局）

1 秋田県内における労働災害発生状況

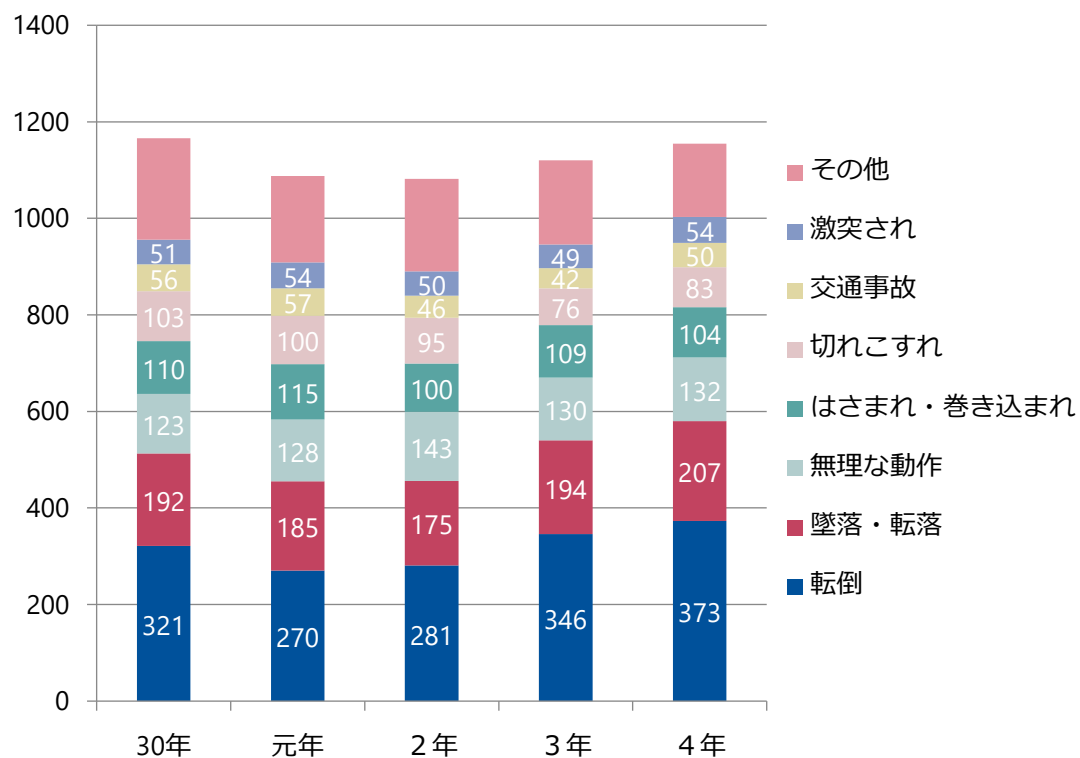
令和4年 業種別発生割合
(新型コロナウイルスを除く)商業・保健衛生業の発生状況推移
(新型コロナウイルスを除く)

2 事故の型別労働災害発生状況

令和4年 事故の型別発生割合
(新型コロナウイルスを除く)

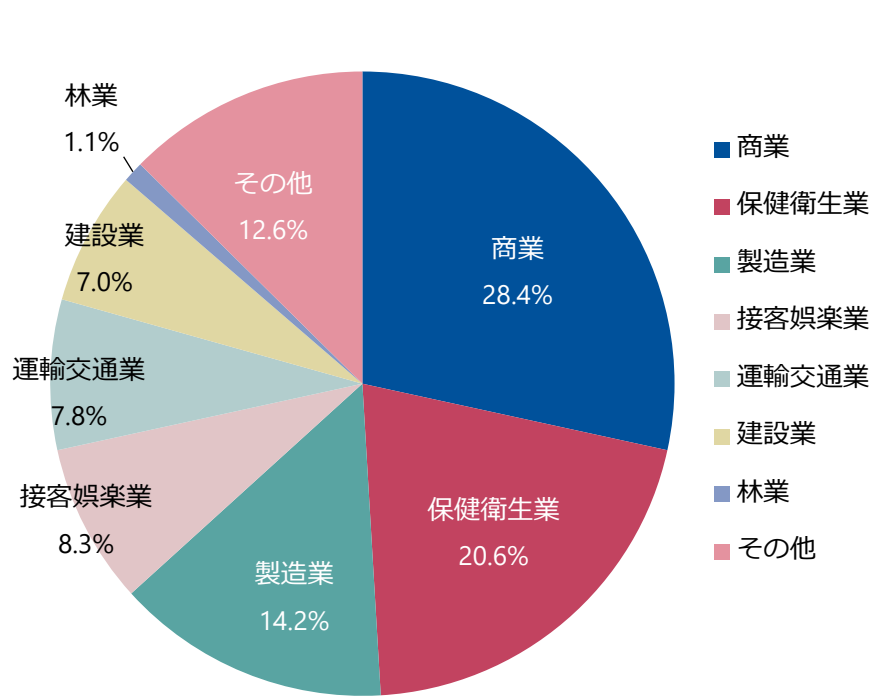


事故の型別労働災害発生状況の推移
(新型コロナウイルスを除く)

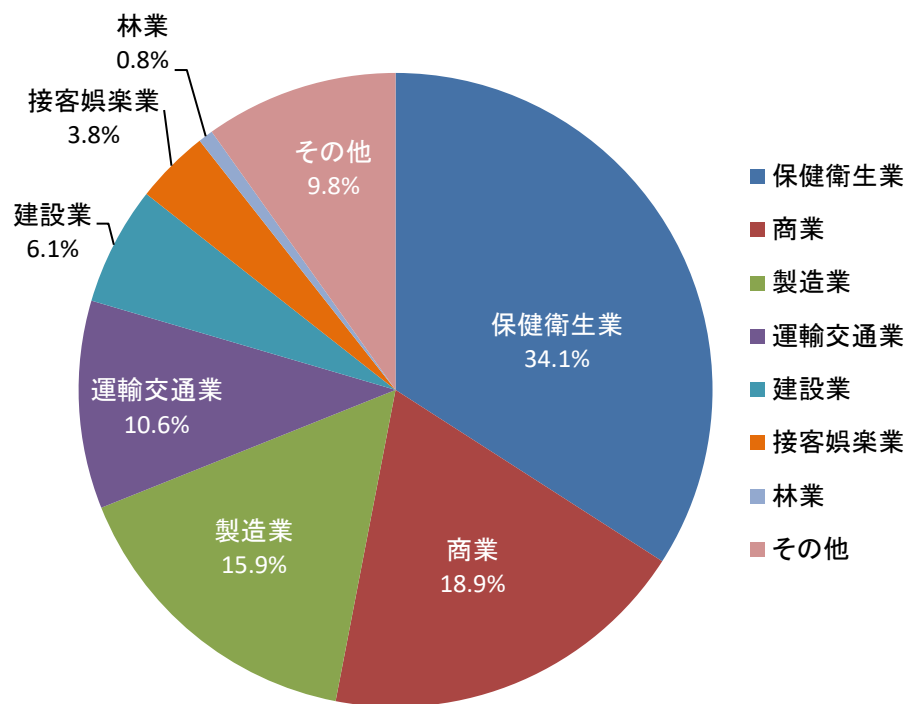


3-1 転倒災害、動作の反動・無理な動作災害発生状況

令和4年 主要業種別 転倒災害発生状況

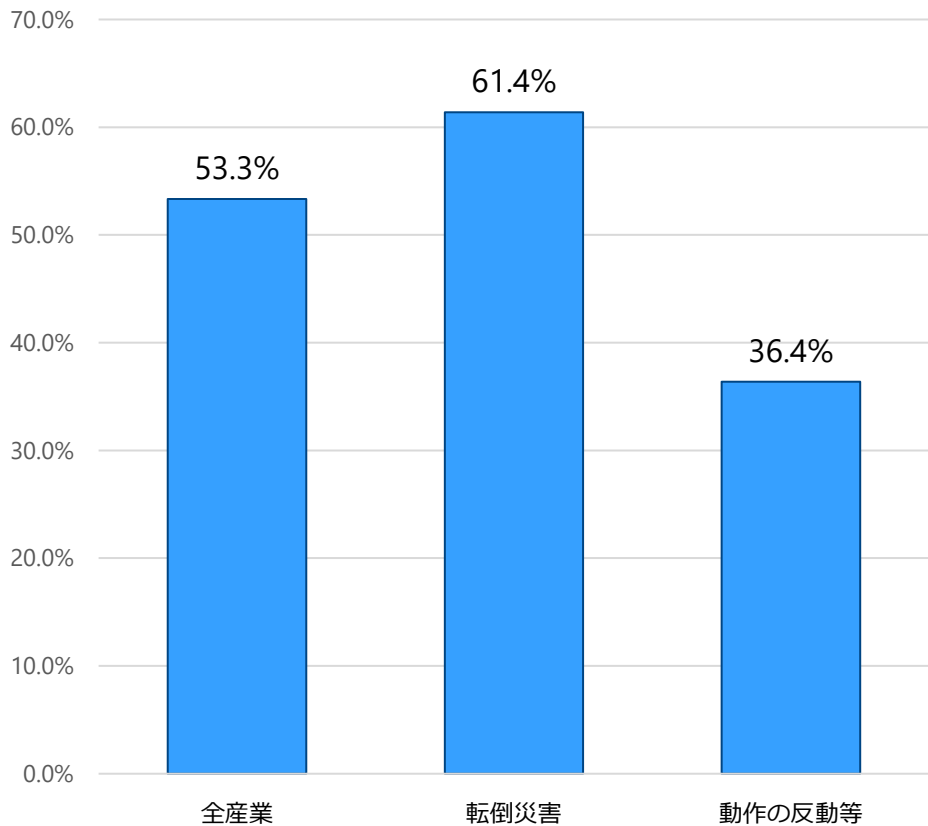


令和4年 主要業種別
動作の反動・無理な動作災害発生状況



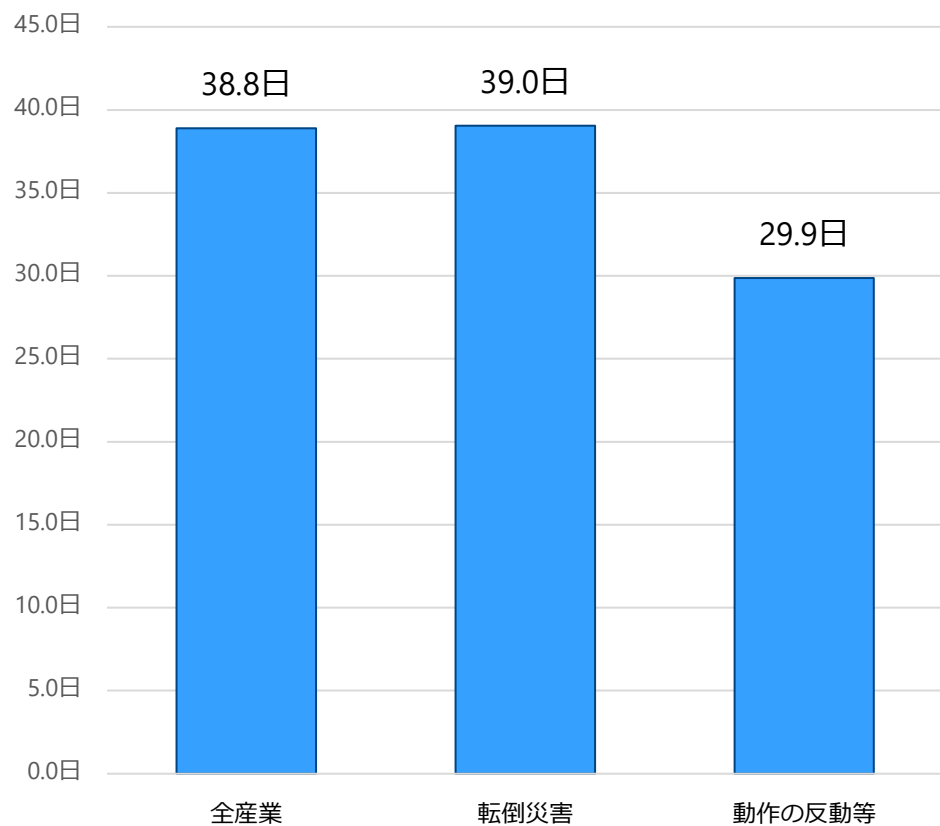
3-2 転倒災害、動作の反動・無理な動作災害発生状況

休業1か月以上の被災者割合
(新型コロナウイルスを除く)



令和4年	全産業	転倒災害	動作の反動等
休業1か月以上の被災者割合	53.3%	61.4%	36.4%

平均休業日数
(新型コロナウイルスを除く)



令和4年	全産業	転倒災害	動作の反動等
平均休業日数	38.8日	39.0日	29.9日

みんなの安全を、
みんなで守り合う。

SAFE

コンソーシアム

— TEAM GOOD SAFE —



“SAFEコンソーシアムについて”

全てのステークホルダーが一丸となり、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指す「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」を設立しました。

SAFEコンソーシアムポータルサイト  

「従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアム」として、全てのステークホルダーが一丸となり、働く人と、全ての人の幸せのために、安全で健康に働くことのできる職場環境の実現のため取り組んでいます。

労働災害防止に向けた機運の醸成や、企業・労働者のみならず、顧客やサービス利用者等のステークホルダーの行動変容のためにご協力いただける全ての企業・団体等の皆様に、コンソーシアムへの参画を呼びかけています。

コンソーシアムの趣旨・目的

労働災害のない安全で安心して働ける職場の実現は、いうまでもなく全ての人の願いです。しかし今、産業構造の変化や働き方の多様化に伴って、転倒や腰痛などの労働者個人の身体機能が大きく影響するリスクや、顧客・発注者、調達先等との関係で改善が難しい業務、柔軟な働き方が進んだ結果としての統一的な教育研修機会の減少など、職場単独では対応が難しい新たな課題が増えてきています。SAFEコンソーシアムは、このような課題の解決を進めるため、「Safer Action For Employees (SAFE)」を旗印に、社会全体として安全で安心して働ける職場づくりのプライオリティを上げ、加盟者が互いの知恵を共有しながら取組を進めていこうとするものです。



加盟メリット

- ロゴマークの掲示や「SAFEアワード」による労働安全衛生への取組のPR
- 加盟メンバー間での取組事例の共有や適切なサービスの利用による企業等内での労働安全衛生水準の向上、労働災害損失の減少
- 加盟メンバー間の労働災害防止・健康増進事業やサービスのマッチング

取組

- 1 加盟メンバーの地位向上(ロゴマークの利用、コンソーシアムの活動の発信)
- 2 優良事例の表彰、コンソーシアム内外への発信(SAFEアワード)
- 3 好取組事例や労働災害防止対策サービスの共有、コンソーシアム事務局主催イベント等によるマッチングによる新たな取組の創出
- 4 安全で安心して働ける職場の実現に向けた協議・周知啓発(シンポジウム)



SAFEアワード

労働災害防止に向けた取組を実施している企業・団体に取組内容を応募いただき、優れた取組を表彰します。



シンポジウム

SAFEコンソーシアム加盟者、その他の企業等が安全で安心して働ける職場の実現に向けた協議や周知啓発、交流を図ります。



現場視察

コンソーシアム加盟企業の取組を広く周知する現場視察等を行います。

